

22
モ一七
聖徒伝 48

「聞け、 イスラエルよ」

申命記5～10章

シェマー・律法の根幹

申命記②

【今日のアウトライン】

- 0. ふりかえり
- I. 十戒 恐れ、守るべきもの 5章
- II. シエマ 主を恐れ、主に仕えよ 6章
- III. 宝の民 聖別され、聖絶せよ 7章
- IV. 荒野の恵み 守りの中の試練 8章
- V. まとめと適用

メシアの荒野の誘惑に学ぶ
御言葉を力に勝利しよう。



【アブラハム契約とは？】

聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

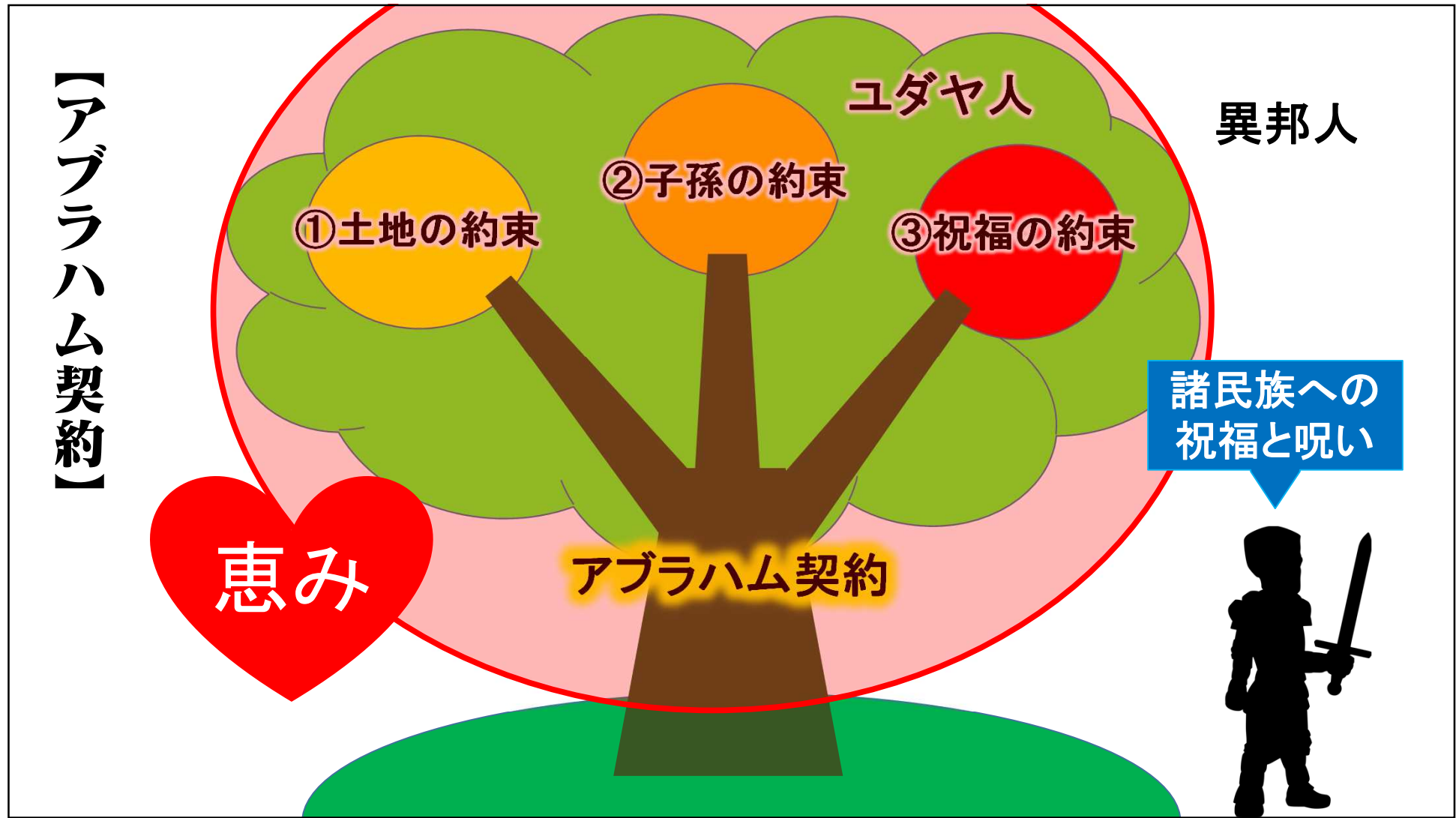
③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

※しるし ...割礼

イスラエルを
守り導く土台







【モーセの律法 十戒とは？】

★モーセの律法(モーセ契約・シナイ契約)

- ・シナイ山で、イスラエルと結ばれた契約
- ・「十戒」がその中心 ...全部で613の条項
(出20:1～申28:68)

★モーセの律法の七つの特徴

- ①救いの方法ではない。
- ②神が聖であることを示す。
- ③旧約時代の聖徒たちの行動基準である。
- ④人の罪を示す
- ⑤人にもっと罪をおかさせる力となる。
- ⑥人を信仰へと導く
- ⑦今現在は、すでに役目を終えた。

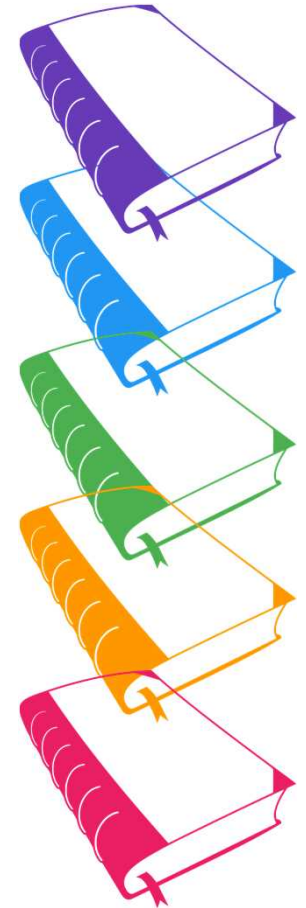


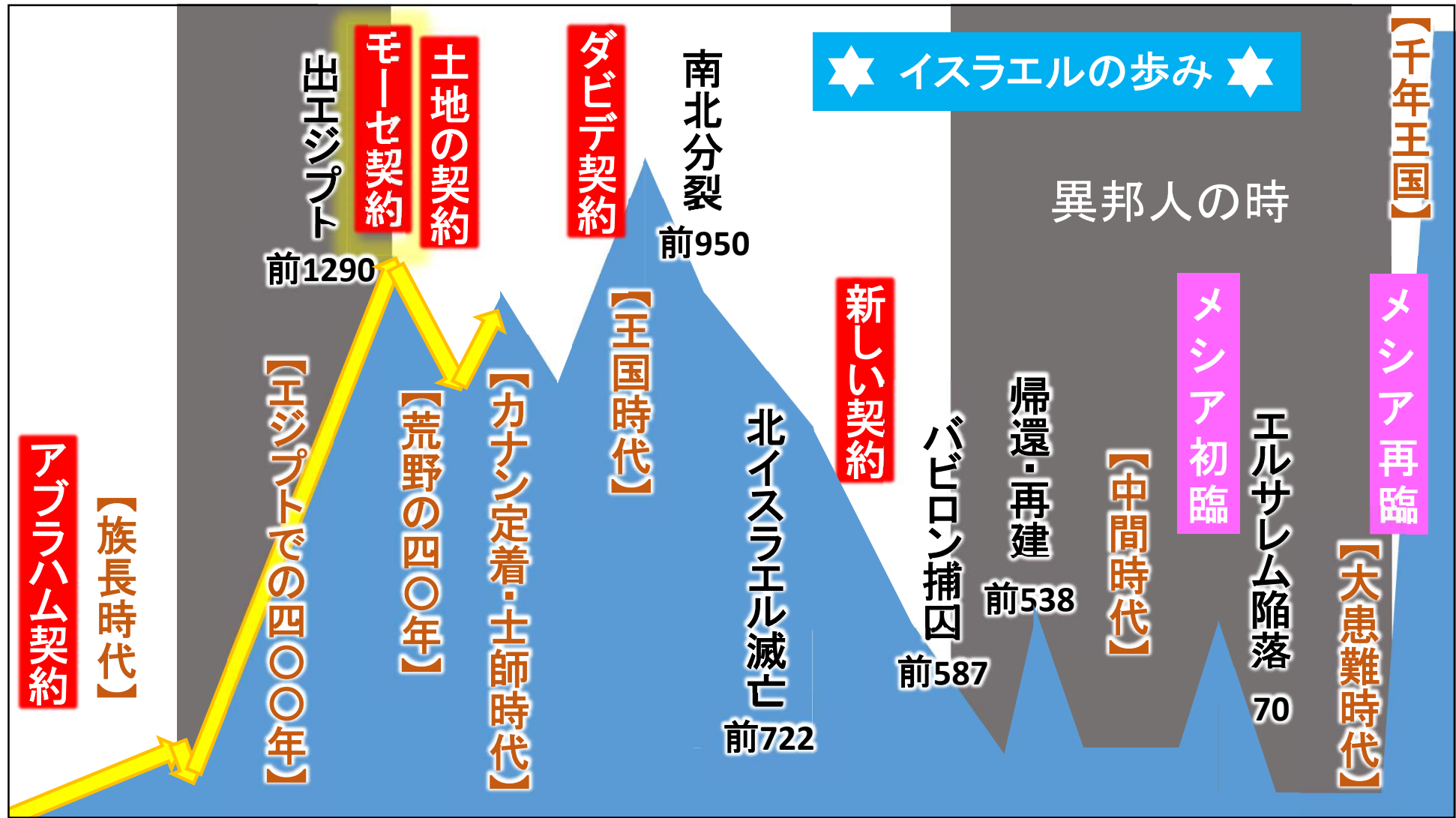
律法は、条件付き契約

従えば、祝福。破れば、呪い

【モーセ5書の内容】

- 創世記 (「エデン契約」「アダム契約」「ノア契約」「アブラハム契約」)
...天地創造から、アブラハム⇒イサク⇒ヤコブまで。
- 出エジプト記 (「シナイ契約」・十戒)
...モーセ誕生。エジプト脱出。律法授与。幕屋の完成。
- レビ記 (三大祭)
...律法。主に祭儀と清めの条項。民の学びの期間。
- 民数記 (カデシュ・バルネア事件)
...点呼、出発。民の過ちと神への反抗。40年の放浪へ。
- 申命記 (「土地の約束」)
...40年の荒野放浪後。新世代への信仰継承。
モーセの遺言。律法全体の総まとめ。





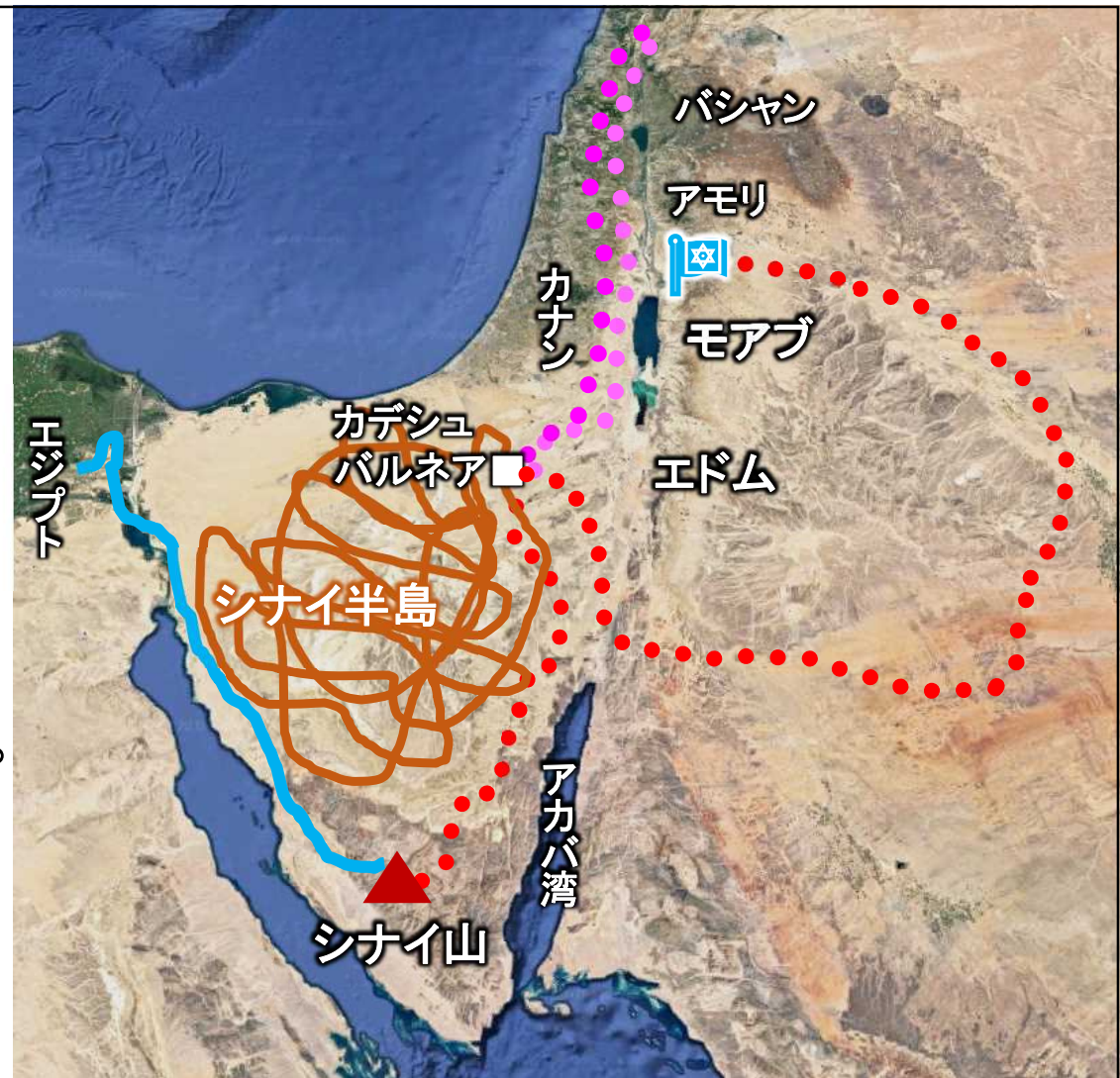
【荒野の40年】

■カデシュ・バルネア事件

イスラエルは、神に反逆し、その世代の者は、荒野で死に絶えることとなった。

■ エジプトから約束の地まで、歩いて10日ほどの距離をイスラエルは、40年放浪した。

■ ヨルダン川の東まで、イスラエルはやってきた。



【モーセの遺言】 申1:1

これは、モーセがイスラエルのすべての民に告げたことば*である。ヨルダンの川向こう、パランと、トフェル、ラバン、ハツエロテ、ディ・ザハブとの間の、スフに面したアラバの荒野でのことであった。

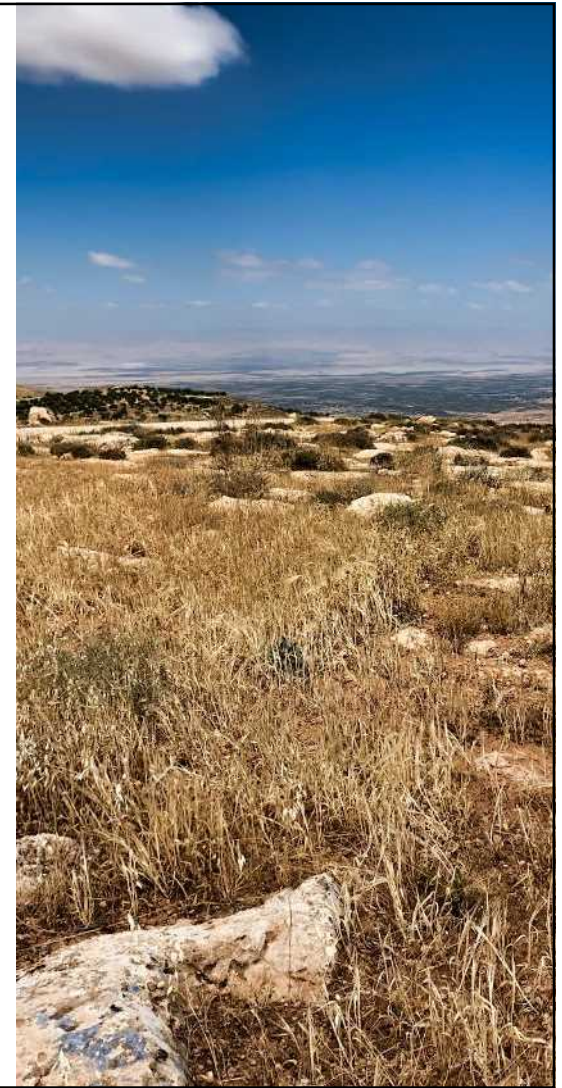
* 申命記の語り部は、モーセ。

■ 約束の地を目の前にモーセが最後に残した遺言。
➡それが「申命記」

■ 申命記は、“繰り返し命じる”という意味。

➡内容の実際は、新世代に向けた“**律法の注解書**”

申命記の目的は、神の教え(律法)の確認





【新世代への律法の確認】 申5:1 ~3

モーセはイスラエルをみな呼び寄せて、彼らに言った。

聞け、イスラエルよ。*今日、私があなたがたの耳に語る掟と定めを。これを**学び、守り行いなさい**。私たちの神、【主】はホレブで私たちと契約を結ばれた。【主】はこの契約を私たちの先祖と結ばれたのではなく、**今日ここに**生きている私たち一人ひとりと結ばれたのである。

* 申命記だけに4回ある呼びかけ(5:1,6:4,9:1,20:3)

* **新世代の一人一人に向けた呼びかけ。**

■ 主の契約は、信じた一人一人と結ばれている。

➡ 接ぎ木された私たちも、同様なのだと覚えよう。

聞け！
学べ！
守り行え！

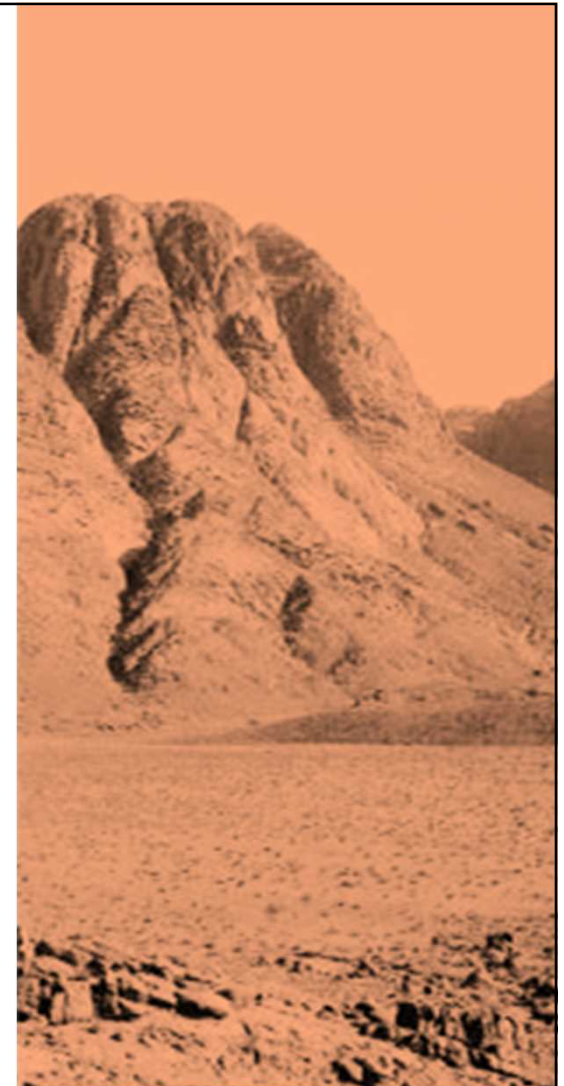
【モーセの宣告】 申5:4～5

【主】はあの山で、火の中からあなたがたに顔と顔を合わせて語られた。* あのとき、私は【主】とあなたがたとの間に立ち*、【主】のことばをあなたがたに告げた。あなたがたが火を恐れて、山に登らなかったからである。主は言われた。

* 未成年の時に、主の顕現に触れた者も多くいた。

* 神と民との仲介者としてのモーセの正統性。

■これからモーセの告げることを、新世代のイスラエルは、主の言葉として聞き、従わなければならない。



【十戒の追記】 申

5:6 「わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、【主】である。

5:7 あなたには、わたし以外に、ほかの神があってはならない。

5:8 あなたは自分のために偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、いかなる形をも造ってはならない。

5:9 それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、【主】であるわたしは、ねたみの神。わたしを憎む者には父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、

5:10 わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。

5:11 あなたは、あなたの神、【主】の名をみだりに口にしてはならない。【主】は、主の名をみだりに口にすることを罰せずにはおかない。

5:12 安息日を守って、これを聖なるものとせよ。あなたの神、【主】が命じたとおりに。

5:13 六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。5:14 七日目は、あなたの神、【主】の安息である。あなたはいかなる仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子や娘も、それに あなたの男奴隷や女奴隷、牛、ろば、いかなる家畜も、また、あなたの町囲みの中にいる寄留者も。そうすれば、あなたの男奴隷 や女奴隷が、あなたと同じように休むことができる。

5:15 あなたは自分がエジプトの地で奴隷であったこと、そして、あなたの神、【主】が力強い御手と伸ばされた御腕をもって、あなたをそこから導き出したことを覚えていなければならない。それゆえ、あなたの神、【主】は安息日を守るよう、あなたに命じたのである。

5:16 あなたの父と母を敬え。あなたの神、【主】が命じたとおりに。それは、あなたの日々が長く続くようにするため、また、あなたの神、【主】があなたに与えようとしているその土地で幸せになるためである。

5:17 殺してはならない。5:18 姦淫してはならない。5:19 盗んではならない。5:20 あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない。

5:21 あなたの隣人の妻を欲してはならない。あなたの隣人の家、畑、男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを欲しがってはならない。」

【第4戒・安息日規定の追記①】 申5:12

5:12 安息日を守って、これを聖なるものとせよ。あなたの神、【主】が命じたとおりに。

5:13 六日間働いて、あなたのすべての仕事をせよ。

5:14 七日目は、あなたの神、【主】の安息である。あなたはいかなる仕事もしてはならない。あなたも、あなたの息子や娘も、それにあなたの男奴隷や女奴隷、牛、ろば、いかなる家畜も、また、あなたの町囲みの中にいる寄留者も。

* 安息日の遵守は、主の命令!! 新世代への強調!!

■ 安息日は、モーセ契約のしるし。

➡ 神の民イスラエルを他の民族と区別するもの!!

安息日を覚えよ



【第4戒・安息日規定の追記②】 申5:14～15

そうすれば、あなたの男奴隷や女奴隷が、あなたと同じように休むことができる。あなたは自分がエジプトの地で奴隷であったこと、そして、あなたの神、【主】が力強い御手と伸ばされた御腕をもって、あなたをそこから導き出したことを覚えていなければならない。それゆえ、あなたの神、【主】は安息日を守るよう、あなたに命じたのである。

- ① 奴隷を休ませるため ➡ 社会的弱者への配慮が強調
- ② 出エジプトを覚えるため ➡ 世代を超え、記憶し続ける
- 新世代、さらに後の世代に対して、出エジプトの出来事を記憶し、継承し続けるよう強く促されている。



【第5戒・安息日規定の追記】 申5:16

あなたの父と母を敬え。*あなたの神、【主】が命じたとおりに。
それは、あなたの日々が長く続くようにするため、また、あなたの神、【主】があなたに与えようとしているその土地で幸せになるためである。

* 両親から引き継いだ神の契約に従うこと。

■ 繰り返し確認される、律法の「祝福と呪い」の側面。

■ 約束の土地を目の前にした新世代に対して、
律法に従えば、幸せになる。という原則が教えられる。



【律法が教えていること】

- イスラエルは、神の律法を守り切れなかった。
- 人には、正しいことを成し遂げる力がない。

- モーセに、神は、メシアの登場を予告された。
- 律法の最大の目的は、メシアに導くこと。
- メシアは、人を滅びから贖い、信仰を成長させ、永遠の神の王国へと導く。

【申18:18】

わたしは彼らの同胞のうちから、彼らのために
あなたのようなひとりの預言者を起こそう。
わたしは彼の口にわたしのことばを授けよう。
彼は、わたしが命じることをみな、彼らに告げる。



【十戒】ユダヤ人による伝統的理解

- ①わたしは、主(ヤハウエ)である。
- ②他の神を拝むな。偶像礼拝を行うな。
- ③神の御名をみだりに唱えるな。
- ④安息日を覚え、聖なる日とせよ。
- ⑤両親を敬え。
- ⑥殺してはならない。
- ⑦姦淫してはならない。
- ⑧盗んではならない。
- ⑨偽りの証言をしてはならない。
- ⑩隣人のものを欲しがらな。

内面を問うもの。実は一番難しい!!



【確認されるイスラエルの長老たちの証言】 申5:22～
これらのことばを、【主】はあの山で火と雲と暗黒の中か
ら、あなたがたの集会全体に大声で告げられた。ほかの
ことは言われなかった。そして主はそれを二枚の石の板
に書いて、私に授けてくださった。

■イスラエルは、神の栄光の前に恐れ、モーセに仲介を
求め、モーセの告げた言葉に従うことを告げた。

5:27 あなたが近づいて行き、私たちの神、【主】が言わ
れることをすべて聞き、私たちの神、【主】があなたにお
告げになることをすべて私たちに告げてください。私たち
は聞いて行います。」



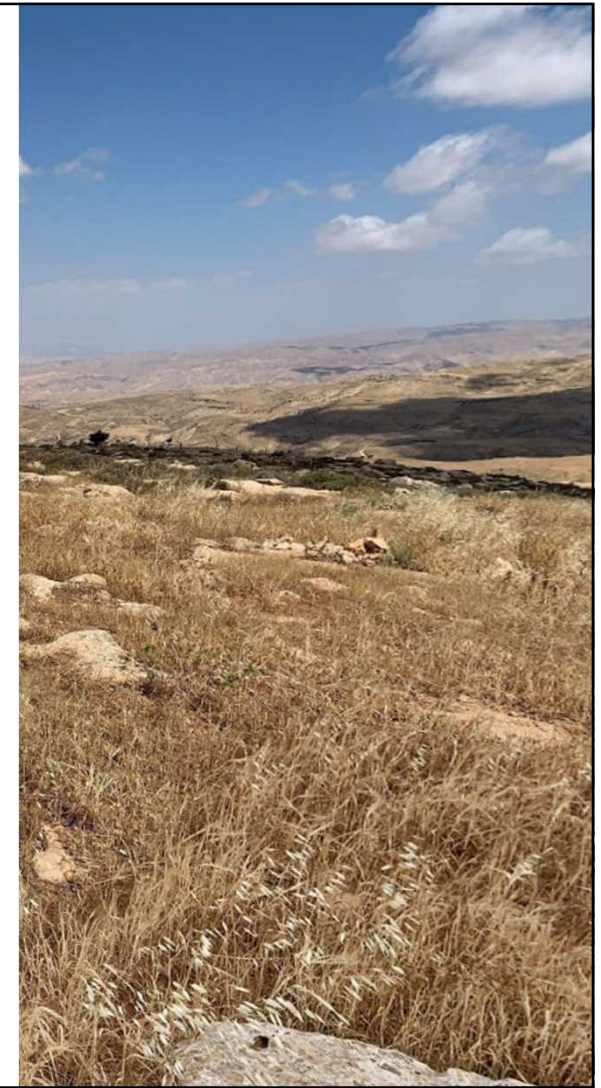
【主の願い・律法の目的】 申5:28～33

■主は、約束の地で守り行おうべく、律法を授けた。

5:32 あなたがたは、あなたがたの神、【主】が命じられたとおりに守り行いなさい。右にも左にもそれてはならない。

5:33 あなたがたの神、【主】が命じられた道をあくまで歩み続けなければならない。あなたがたが生き、幸せになり、あなたがたが所有するその地で、あなたの日々が長く続くようにするためである。

■約束の地でのイスラエルの日々は、
律法を守り従うことに、すべてかかっている!!



Ⅱ. シエマ 主を恐れ、主に仕えよ 申命記6章



【当たり前前の聖書的前提】 申6:1～3

6:3 イスラエルよ、**聞いて守り行いなさい**。そうすれば、あなたは幸せになり、あなたの父祖の神、【主】があなたに告げられたように、あなたは乳と蜜の流れる地で大いに増えるであろう。

* **律法を聞く = 律法を守り行う**

■ 信仰と行いは、不可分のもの。

➡ 心と体、思いを行動を切り離すのは、
異邦人的価値観。聖書の価値観とは異質。

■ 信じているけど、行いに現れない?!

➡ 聖書的には、ただの不信仰。



【シエマ】 申6:4～5

聞け*、イスラエルよ。【主】は私たちの神。【主】は唯一である。あなたは心を尽くし、いのちを尽くし、力を尽くして、あなたの神、【主】を愛しなさい。

* 聞け ...“シエマー”

■ ユダヤ教の最も重要な信仰告白。

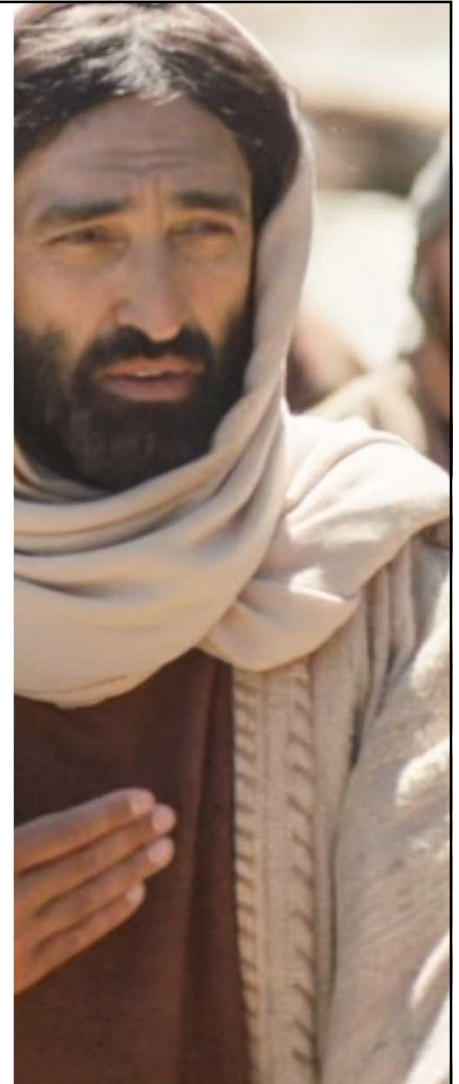
■ 主イエスは、律法の最も重要な戒めだと語った。

第二戒:「あなたの隣人を自分自身のように愛しなさい」

(レビ19:18)

「これらよりも重要な命令は、ほかにありません。

マルコ12:31」



【御言葉を刻む】 申6:6～9

私が今日あなたに命じるこれらのことばを心にとどめなさい。

6:7 これをあなたの子どもたちによく教え込みなさい。あなたが家で座っているときも道を歩くときも、寝るときも起きるときも、これを彼らに語りなさい。

6:8 これをしるしとして自分の手に結び付け、記章として額の上に置きなさい。

6:9 これをあなたの家の戸口の柱と門に書き記しなさい。

■ 求められるのは、優先順位。

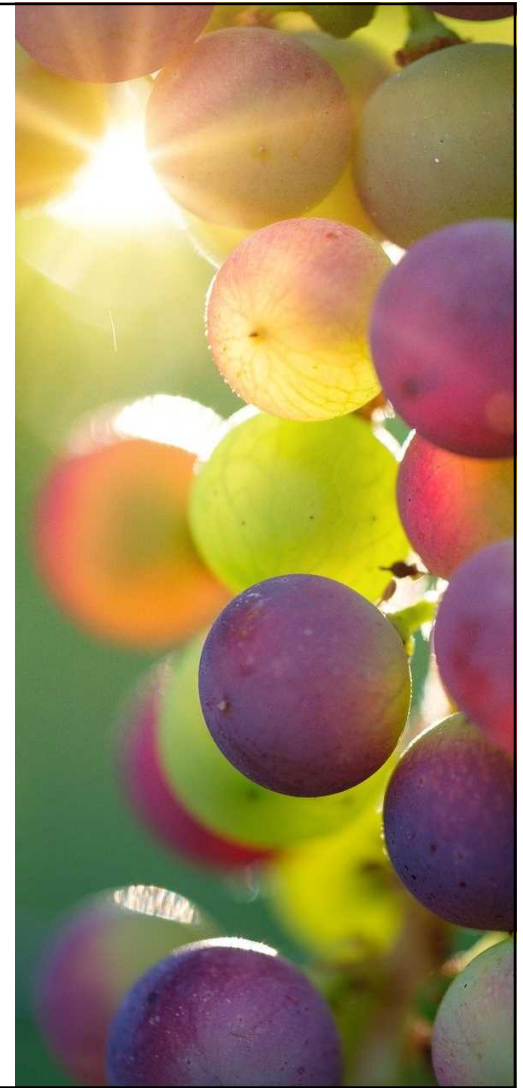
➡ 御言葉を第一に慕い求め、味わっているか。



【約束の地の恵み】 申6:10～12

あなたの神、【主】は、あなたの父祖、アブラハム、イサク、ヤコブに誓われた地にあなたを導き入れ、あなたが建てたのではない、大きくてすばらしい町々、あなたが満たしたのではない、あらゆる良い物で満ちた家々、あなたが掘ったのではない掘り井戸、あなたが植えたのではない、ぶどう畑とオリーブ畑、これらをあなたに与えてくださる。それであなたは、食べて満ち足りるとき、気をつけて、エジプトの地、奴隷の家からあなたを導き出された【主】を忘れないようにしなさい。

■ 約束の地のすべては、主から与えられた恵み



【背きへの呪い】 申6:13～16

6:13 あなたの神、【主】を恐れ、主に仕えなさい。また御名によって誓いなさい。6:14 ほかの神々に、すなわち、あなたがたの周りにいる諸国の民の神々に従って行ってはならない。

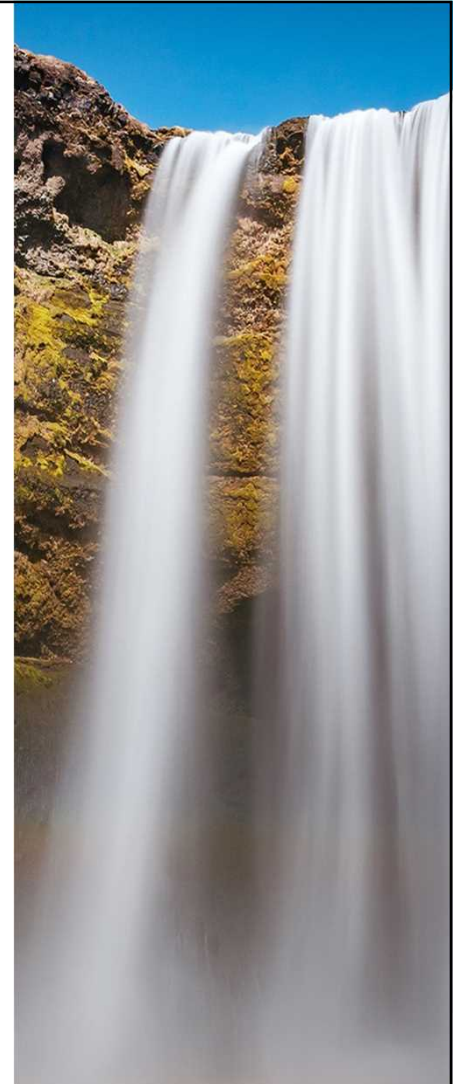
6:15 あなたのうちにおられるあなたの神、【主】はねたみの神であるから、あなたの神、【主】の怒りがあなたに向かって燃え上がり、主があなたを大地の面から根絶やしにされることのないようにしなさい。

6:16 あなたがたがマサ*で行ったように、あなたがたの神である【主】を試みてはならない。

* 水がないと不満を言い、主は岩から水が噴き出させた。

■ 約束の地で、主に逆らえば呪いがある。

■ 荒野の誘惑で、主イエスが引用(マタイ4:10,4:7)



【律法の祝福】 申6:17～19

あなたがたの神である【主】の命令、主が命じられたさとしと掟を必ず守らなければならない。

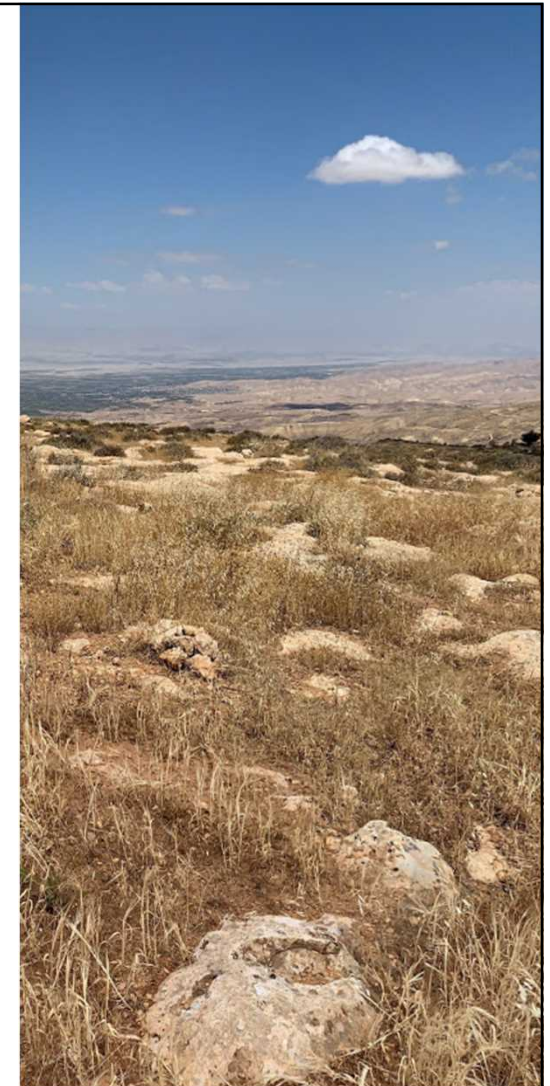
【主】の目にかなう良いことをしなさい。そうすれば、あなたは幸せになり、【主】があなたの父祖たちに誓われた、あの良い地を所有することができる。

【主】が告げられたように、敵をことごとくあなたの前から追い払うことができる。

■ 律法が、新世代の若いイスラエルを育み、導く。

→ 祝福と呪いは、アメとムチ。

■ 神は、ご自分の民を愛し、
民の成長を願っておられる。



【出エジプトの意味】 申6:20～23

6:20 後になって、あなたの息子があなたに尋ねて、「私たちの神である【主】が命じられた、このさとしと掟と定めはどういうことですか」と言うなら、

6:21 あなたは自分の息子にこう言いなさい。「私たちはエジプトでファラオの奴隷であったが、【主】が力強い御手をもって私たちをエジプトから導き出された。

6:22 【主】は私たちの目の前で、エジプトに対し、ファラオとその全家族に対して、大きくて害をもたらすしるしと不思議を行い、私たちをそこから導き出された。それは、**私たちの父祖たちに誓われた地に私たちを導き入れ、その地を私たちに与えるためであった。**



【最後の災いが降る】 出12:29～31

12:29 真夜中になって、【主】はエジプトの地のすべての初子を、王座に着くパロの初子から、地下牢にいる捕虜の初子に至るまで、また、すべての家畜の初子をも打たれた。

12:30 それで、その夜、パロやその家臣および全エジプトが起き上がった。そして、エジプトには激しい泣き叫びが起こった。それは死人のない家になかったからである。

12:31 パロはその夜、モーセとアロンを呼び寄せて言った。「おまえたちもイスラエル人も立ち上がって、私の民の中から出て行け。おまえたちが言うとおりに、行って、【主】に仕えよ。」



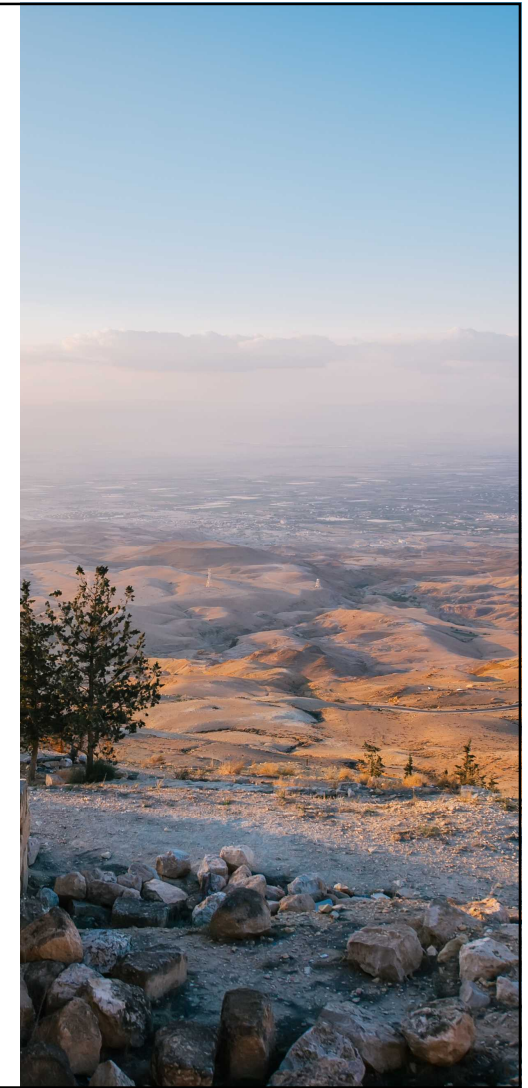
【律法の義】 申6:24～25

それで【主】は、私たちがこのすべての掟を行い、自分たちの神である【主】を恐れるように命じられたのである。今日のように、いつまでも私たちが幸せになり、私たちが生かされるためである。

6:25 私たちの神、【主】が命じられたように御前でこのすべての命令を守り行うとき、それは**私たちの義となる**のである。」

- 律法の義は、イスラエルに荒野の40年を通らせ、やがて、約束の地から散らすことになる。

真実の義は、やがて来るメシアにしかない!!



Ⅲ. 宝の民

聖別され、聖絶せよ

申命記7章

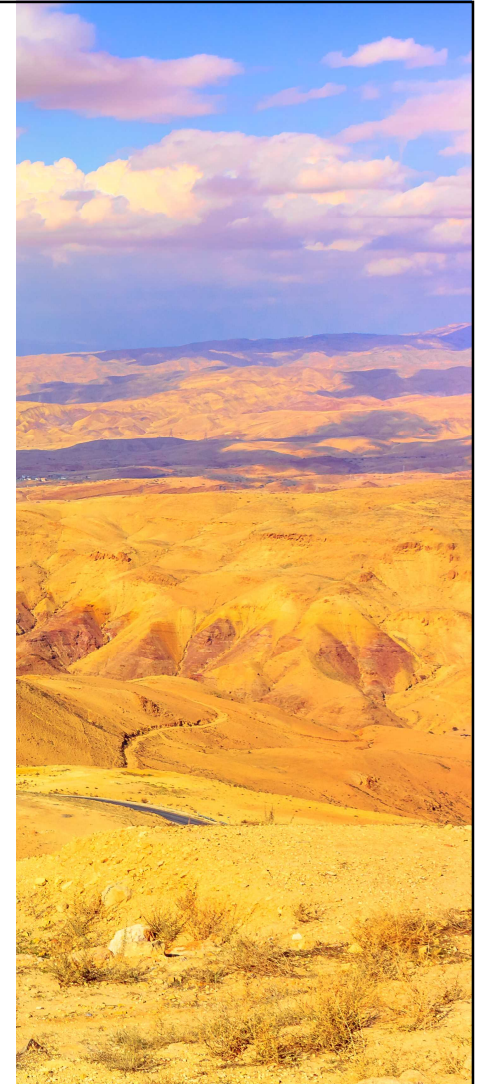


【聖絶の命令】 申7:1

あなたが入って行って所有しようとしている地に、あなたの神、【主】があなたを導き入れるとき、主は、あなたよりも数多くまた強い七つの異邦の民、すなわち、ヒッタイト人、ギルガシ人、アモリ人、カナン人、ペリジ人、ヒビ人、およびエブス人をあなたの前から追い払われる。

7:2 あなたの神、【主】が彼らをあなたに渡し、あなたがこれを討つとき、あなたは彼らを必ず**聖絶**しなければならない。彼らと何の契約も結んではならない。また、彼らにあわれみを示してはならない。

- カナン人には、400年以上の猶予期間が与えられた。
→ 時は来た。イスラエルを器として、神の裁きが降る。

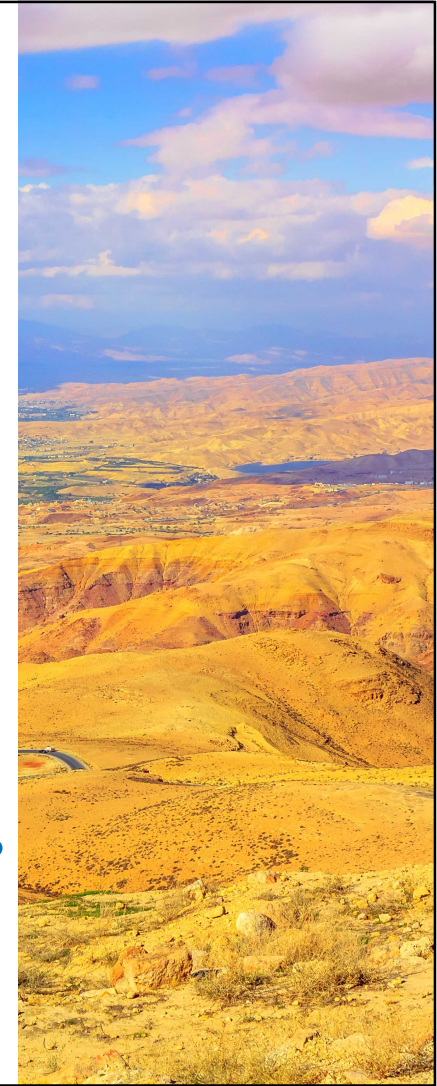


【偶像の根絶】 申7:3～5

また、彼らと姻戚関係に入ってはならない。あなたの娘をその息子に嫁がせたり、その娘をあなたの息子の妻としたりしてはならない。というのは、彼らはあなたの息子を私から引き離し、ほかの神々に仕えさせ、こうして【主】の怒りがあなたがたに向かって燃え上がって、あなたをただちに根絶やしにするからである。

7:5 むしろ彼らに対して、このようにしなければならない。彼らの祭壇を打ち壊し、石の柱を打ち砕き、彼らのアシェラ像を切り倒し、彼らの彫像を火で焼かなければならない。

■ 主は、すべての偶像礼拝に怒りを注ぎ、裁かれる。



【宝の民】 申7:6

あなたは、あなたの神、【主】の聖なる民だからである。あなたの神、【主】は地の面のあらゆる民の中からあなたを選んで、ご自分の**宝の民**とされた。

■イスラエルの真の信仰者は、隠された宝。

「マタ 13:44 天の御国は**畑に隠された宝**のようなものです。その宝を見つけた人は、それをそのまま隠しておきます。そして喜びのあまり、行って、持っている物すべてを売り払い、その畑を買います。」

➔主は一方的にイスラエルを愛し、少数の信仰者のゆえに、イスラエルを守り、民族的回心へ導く。



【イスラエルの選びの理由】 申7:7～8

【主】があなたがたを慕い、あなたがたを選ばれたのは、あなたがたがどの民よりも数が多かったからではない。事実あなたがたは、あらゆる民のうちで最も数が少なかった。しかし、【主】があなたがたを愛されたから、またあなたがたの父祖たちに誓った誓いを守られたから、【主】は力強い御手をもってあなたがたを導き出し、奴隷の家から、エジプトの王ファラオの手からあなたを贖い出されたのである。

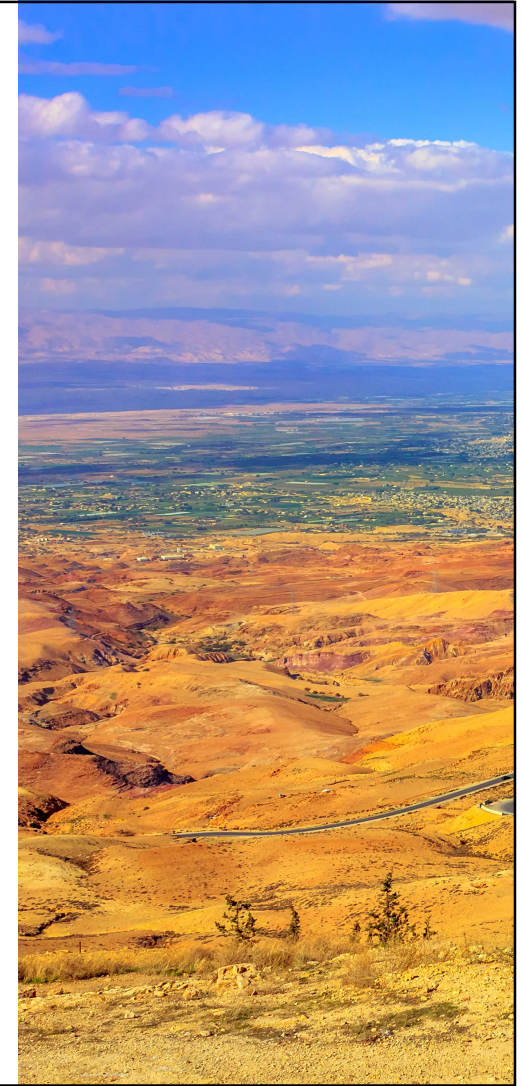
- イスラエルの選びは一方的な選び。
アブラハム契約の恵みに基づくもの。



【恵みと報い】 申7:9～10

あなたは、あなたの神、【主】だけが神であることをよく知らなければならない。主は信頼すべき神であり、ご自分を愛し、ご自分の命令を守る者には恵みの契約を千代までも*守られる。しかし、ご自分を憎む者には一人ひとりに報いて彼らを滅ぼされる。主はためらわず、ご自分を憎む者一人ひとりに報いられる。

* 千代までも ...永遠に。

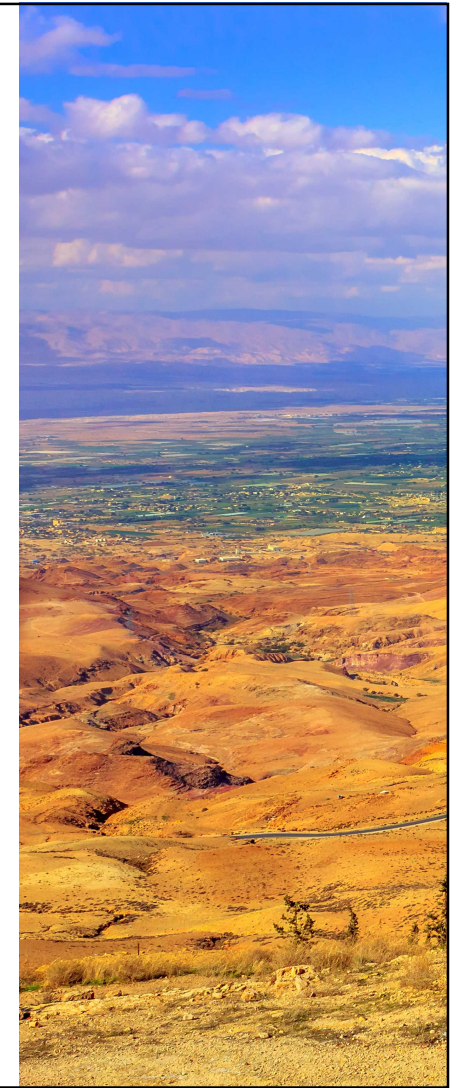


【律法に従う者の祝福】 申7:11～15

あなたは、私が今日あなたに命じる命令、すなわち掟と定めを守り行わなければならない。

7:12 もしあなたがたがこれらの定めを聞き、これを守り行うなら、あなたの神、【主】は、あなたの父祖たちに誓われた恵みの契約をあなたのために守り、あなたを愛し、あなたを祝福し、あなたを増やす。主があなたに与えるとあなたの父祖たちに誓われた地で、あなたの胎の実も、穀物、新しいぶどう酒、油などの大地の実りも、またあなたの群れの中の子牛、群れの中の子羊も祝福される。

7:14 あなたはあらゆる民の中で最も祝福される。あなたのうちには、子のいない男、子のいない女はいなくなる。あなたの家畜も同様である。7:15 【主】はあらゆる病気をあなたから取り除き、あなたが経験したあのエジプトの悪疫を、一つもあなたにはもたらさず、あなたを憎むすべての者にこれを下される。

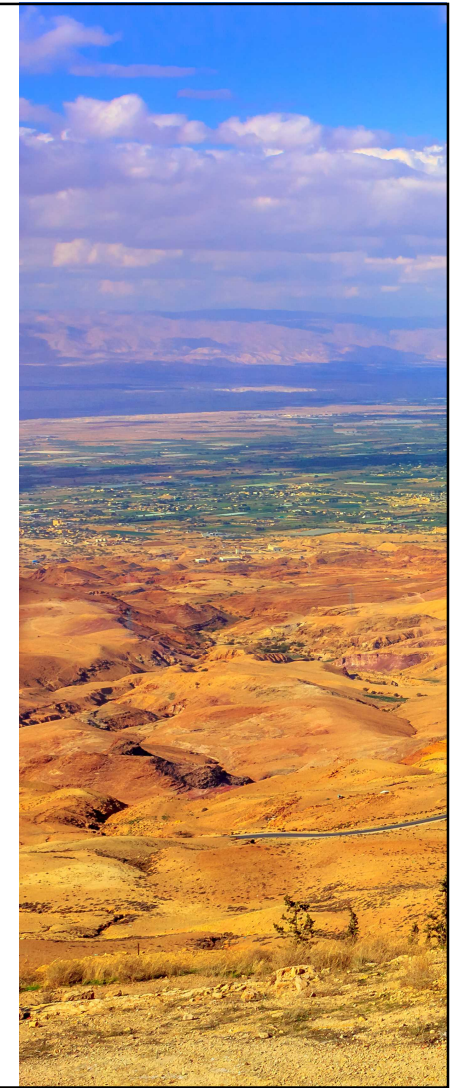


【律法に従う者の祝福】 申7:11～15

あなたは、私が今日あなたに命じる命令、すなわち掟と定めを守り行わなければならない。

7:12 もしあなたがたがこれらの定めを聞き、これを守り行うなら、あなたの神、【主】は、あなたの父祖たちに誓われた恵みの契約をあなたのために守り、あなたを愛し、あなたを祝福し、あなたを増やす。主があなたに与えるとあなたの父祖たちに誓われた地で、あなたの胎の実も、穀物、新しいぶどう酒、油などの大地の実りも、またあなたの群れの中の子牛、群れの中の子羊も祝福される。

7:14 あなたはあらゆる民の中で最も祝福される。あなたのうちには、子のいない男、子のいない女はいなくなる。あなたの家畜も同様である。7:15 【主】はあらゆる病気をあなたから取り除き、あなたが経験したあのエジプトの悪疫を、一つもあなたにはもたらさず、あなたを憎むすべての者にこれを下される。



【恐れるな】 申7:16

あなたは、あなたの神、【主】があなたに与えるあらゆる民を滅ぼし尽くす。彼らにあわれみをかけてはならない。また彼らの神々に仕えてはならない。それがあなたへの罫となるからだ。

7:17 あなたが、「これらの異邦の民は私よりも多い。どうして彼らを追い払うことができるだろうか」と考えるときにも、彼らを恐れてはならない。あなたの神、【主】がファラオに、また全エジプトになされたことをよく覚えていなければならない。

7:19 あなたが自分の目で見たあの大きな試みと、しるしと不思議と、力強い御手と伸ばされた御腕をもって、あなたの神、【主】はあなたを導き出された。あなたの神、【主】は、あなたが恐れているあらゆる民に対しても同じようにされる。

7:20 また、あなたの神、【主】はスズメバチを彼らのうちに送り、生き残っている者たちや隠れている者たちを、あなたの前から滅ぼされる。



【恐れるな】 申7:21～24

彼らの前でおびえてはならない。あなたのうちにおられるあなたの神、【主】は、大いなる恐るべき神だからである。

7:22 あなたの神、【主】はこれらの異邦の民を徐々にあなたの前から追い払われる。あなたは彼らをすぐに絶ち滅ぼすことはできない。野の獣が増えて、あなたを襲うことのないようにするためである。

7:23 あなたの神、【主】が彼らをあなたに渡し、彼らを大いにかき乱し、ついに彼らは根絶やしにされる。

7:24 また、彼らの王たちをあなたの手渡しされる。あなたは彼らの名を天の下から消し去る。だれ一人としてあなたの前に立ちはだかる者はなく、ついに、あなたは彼らを根絶やしにする。



【恐れるな】 申7:25～26

7:25 あなたがたは彼らの神々の彫像を火で焼かなければならない。それにかぶせた銀や金を欲しがってはならない。また自分のものとしてはならない。あなたが罠に陥らないようにするためである。それは、あなたの神、【主】が忌み嫌われるものである。

7:26 忌み嫌うべきものをあなたの家に持ち込んで、あなたもそれと同じように聖絶されたものとなってはならない。それをあくまで忌むべきものとし、あくまで忌み嫌わなければならない。それは聖絶の物だからである。

■ 聖絶されるべきものを自分のものとする者もまた、神の目に、聖別されるべきものとなる。



IV. 荒野の恵み 守りの中の試練 申命記8章



【荒野の40年の目的】 申8:1

私が今日あなたに命じるすべての命令を、あなたがたは守り行わなければならない。そうすれば、あなたがたは生きて数を増やし、【主】があなたがたの父祖たちに誓われた地に入って、それを所有することができる。

8:2 あなたの神、【主】がこの四十年の間、荒野であなたを歩ませられたすべての道を覚えていなければならない。それは、あなたを苦しめて、あなたを試し、あなたがその命令を守るかどうか、あなたの心のうちにあるものを知るためであった。

■ イスラエルは、記憶の民。

■ 荒野の40年は、イスラエルの試しの期間だった。



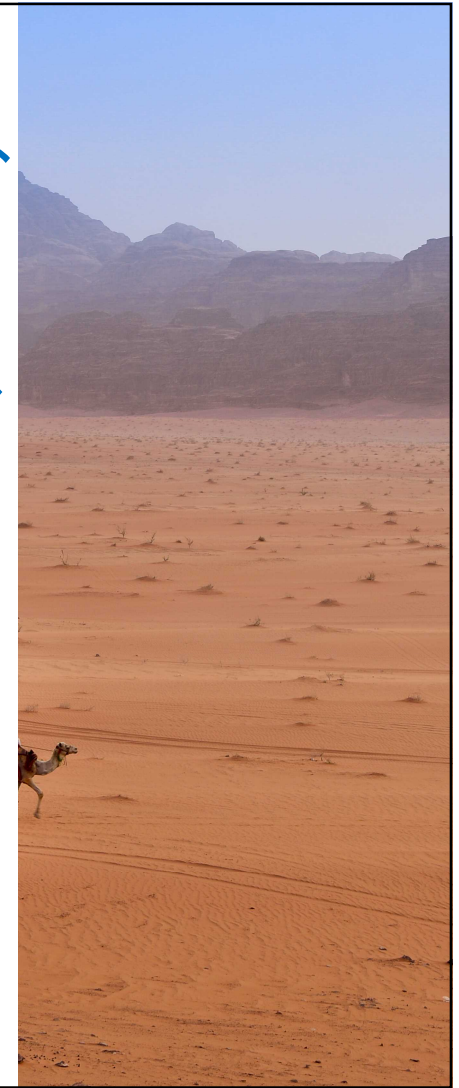
【荒野の40年の主の守り】 申8:3

それで主はあなたを苦しめ、飢えさせて、あなたも知らず、あなたの父祖たちも知らなかったマナを食べさせてくださった。それは、人はパンだけで生きるのではなく、人は【主】の御口から出るすべてのことばで生きるということをし、あなたに分からせるためであった。

8:4 この四十年の間、あなたの衣服はすり切れず、あなたの足は腫れなかった。

8:5 あなたは、人がその子を訓練するように、あなたの神、【主】があなたを訓練されることを知らなければならない。

- 荒野の誘惑で主イエスが引用(マタイ4:4)
- 40年間、主がイスラエルを奇跡的に守られた。



【約束の地の恵み・神への賛歌】 申8:6～10

あなたの神、【主】の命令を守って主の道に歩み、主を恐れなさい。

8:7 あなたの神、【主】があなたを良い地に導き入れようとしておられるからである。そこは、谷間と山に湧き出る水の流れや、泉と深い淵のある地、小麦、大麦、ぶどう、いちじく、ざくろのある地、オリーブ油と蜜のある地である。

8:9 そこは、あなたが不自由なくパンを食べ、何一つ足りないものがない地であり、その石は鉄で、その山々からは銅を掘り出すことのできる地である。

8:10 **あなたが食べて満ち足りたとき、主がお与えくださった良い地について、あなたの神、【主】をほめたたえなければならない。**

主の恵みを味わい、主をほめたたえよ



【主は、民を苦しめ、試し、幸せにする】 申8:11～16

8:11 気をつけなさい。私が今日あなたに命じる、主の命令と主の定めと主の掟を守らず、あなたの神、【主】を忘れることがないように。

8:12 あなたが食べて満ち足り、立派な家を建てて住み、あなたの牛や羊の群れが増え、銀や金が増し、あなたの所有物がみな豊かになって、あなたの心が高ぶり、あなたの神、【主】を忘れることがないように。

主はあなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出し、燃える蛇やサソリのいるあの大きな恐ろしい荒野、水のない乾ききった地を通らせ、硬い岩からあなたのために水を流れ出させ、あなたの父祖たちが知らなかったマナを、荒野であなたに食べさせてくださった。それは、あなたを苦しめ、あなたを試し、ついにはあなたを幸せにするためだったのである。



究極のゴールは
メシア的王国

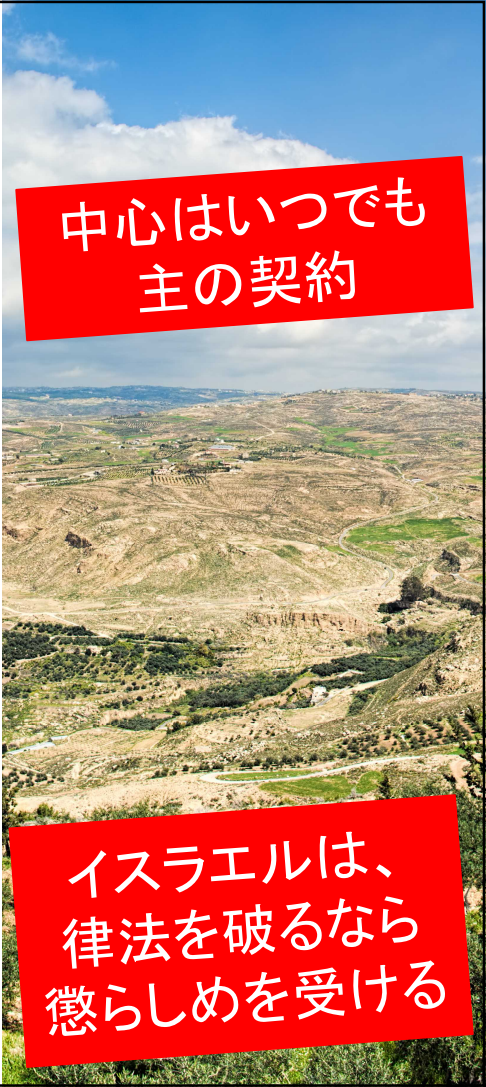
【契約に基づく主の恵みを心にとめよ】 申8:17～20

8:17 あなたは心のうちで、「私の力、私の手の力がこの富を築き上げたのだ」と言わないように気をつけなさい。

8:18 あなたの神、【主】を心に据えなさい。主があなたに富を築き上げる力を与えるのは、あなたの父祖たちに誓った契約を今日のように果たされるためである。

8:19 もしもあなたが、あなたの神、【主】を忘れ、ほかの神々に従って行き、それらに仕え、それらを拝むようなことがあれば、今日、私はあなたがたにこう警告する。あなたがたは必ず滅びる。

8:20 【主】があなたがたの前から滅ぼされる国々のように、あなたがたも滅びる。あなたがたが自分たちの神、【主】の御声に聞き従わないからである。



中心はいつでも
主の契約

イスラエルは、
律法を破るなら
懲らしめを受ける

VI. まとめと適用

メシアの荒野の誘惑に学ぶ
御言葉を力に勝利しよう



【荒野の誘惑】 マタイ4:1～11

■ イエスが、バプテスマのヨハネのもとで洗礼を受け、メシアとしての公生涯を歩み始めてから、すぐのできごと。

4:1 それからイエスは、悪魔の試みを受けるために、御霊に導かれて荒野に上って行かれた。

4:2 そして四十日四十夜、断食をし、その後で空腹を覚えられた。

4:3 すると、試みる者が近づいて来て言った。

「あなたが神の子なら、これらの石がパンになるように命じなさい。」

4:4 イエスは答えられた。

「『人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばで生きる』と書いてある。」

【荒野の誘惑】 マタイ4:1～11

4:5 すると悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、神殿の屋根の端に立たせて、こう言った。「あなたが神の子なら、下に身を投げなさい。『神はあなたのために御使いたちに命じられる。彼らはその両手にあなたをのせ、あなたの足が石に打ち当たらないようにする』と書いてあるから。」

4:7 イエスは言われた。

「『あなたの神である主を試みてはならない』とも書いてある。」

4:8 悪魔はまた、イエスを非常に高い山に連れて行き、この世のすべての王国とその栄華を見せて、こう言った。「もしひれ伏して私を拝むなら、これをすべてあなたにあげよう。」

4:10 そこでイエスは言われた。「下がれ、サタン。『あなたの神である主を礼拝しなさい。主にのみ仕えなさい』と書いてある。」

4:11 すると悪魔はイエスを離れた。そして、見よ、御使いたちが近づいて来てイエスに仕えた。

【悪魔の本質から考える、荒野の誘惑のポイント】

- 最大の目的は、メシアの救いの業を妨害すること。
- 創世記3:15で、悪魔に宣告された「原福音」の内容は？
“かかとをかまれ(自らを犠牲にして)、頭を踏み砕く(悪魔を打ち破る)”
- 「犠牲を払うことなく、この世の王にしてやろう」 ➡ 悪魔の誘惑の本質。
十字架の贖いを阻むもの。

- 悪魔(サタン)とは、「告発する者」。
➡ 人に罪を犯させ、神の怒りを用いて滅びに至らせる。(自力では不可)
- 悪魔は、アダムに罪を犯させて以来、世の支配者となっている。
➡ この世の富を自分の自由にする力を持っている。
- 悪魔は、ある程度までは、超自然的業をも行える。
➡ 呪術師による血、カエルの発生。(出エジプトの十の災い)

【悪魔による荒野の誘惑のポイント】

■ イエスの人間としての肉体的欲求・欲望に訴えかけた。

① 石をパンにしてみせろ

➡ 自らの力で飢えを満たせ。(相手が神の子キリストだからこそその誘惑)

② 飛び降りて、無事を証明しろ。聖書にも書いてあるぞ(意味を曲解!!)

➡ 犠牲を払わずとも(十字架を経ないで)、メシアの証明ができるぞ!!

③ ひれ伏せば、全世界を与える。

➡ 犠牲を払わずとも、世の王になれるぞ!!

■ 一つでも成功すれば、イエスの負け。

➡ 神に背く罪を犯し、罪なき子羊としての資格は完全に失われる。

【イエスの回答】

① 石をパンにしてみせろ

→『人はパンだけで生きるのではなく、
神の口から出る一つ一つのことばで生きる。申命記8:3』

■ 神の言葉こそ、人を生かす真実のもの。

② 飛び降りて、無事を証明しろ

→『あなたの神である主を試みてはならない。申命記6:16』

■ イスラエルは、主を試みて、懲らしめを受けた。

③ ひれ伏せば、全世界を与える。

→『あなたの神である主を礼拝しなさい。主にのみ仕えなさい。申6:13』

■ 求められるのは、唯一の主、全知全能のヤハウェに仕えることだけ。

【主イエスに学ぶ、靈的戦いのシンプルさ】

■ イエスが引用したのは、すべて申命記から。

➡ 申命記は、律法の総まとめ。新世代のための律法の要約。

すべて、「基本のキ」。イスラエルにとって何一つ目新しいことはない。

➡ イエスは、誰もが知っている律法の基本だけで、悪魔を退けた。

(※反則級の強打者を、何の変哲もないストレート一本で打ち取った?!)

■ 人間によって付け加えられた、複雑怪奇な口伝律法とは全く異質のもの。

■ 私たちの日々の靈的な戦いで、最も力になるのは、救いの大原則。

① 人はただ、信仰により、恵みによって救われる。

② 神の約束は、変わることがない。すべて完全に成就される。

③ 福音を信じた者には、その瞬間、永遠の命が約束されている。

【申命記から、繰り返し学んでいこう、基本のキ】

■ 申命記のテーマとは？

“主を愛する者は、主を恐れる。主を恐れる者は、主を愛する。”

➡主を恐れ、主を愛せよ。主は義と愛の方。裁きの憐れみの方である。

■ 十字架の贖いをなしとげられた、憐れみ深い愛の方、主イエスを愛そう。

王の王として再臨され、罪と悪を裁かれる、主イエスを恐れよう。

■ 朝に夕に、日々の中で、主イエスを第一としているだろうか。

優先順位を見直そう。心の中をいつも主イエスが占めておられるように。

いつでも、主イエスの証人として、立たせられているように。

■ イスラエルの罪は、他の誰とも変わらない。

違うのは、過ちを繰り返しつつも、それでも、歩み続けていったこと。

■ 失敗したら、悔い改めたらいい、告白した罪を、主は何度でもゆるしてくださる。

歩み続けること、チャレンジし続けることを、やめることなく、続けていこう。

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

この変(か)わらない救(すくい)の真実(しんじつ)に、立(た)ち続(つづ)けることができますように。過(あやま)ちを犯(おか)すたびに、悔(く)い改(あらた)めて立(た)ち返(かえ)ることができますように。

約束(やくそく)の王国(おうこく)に 招(まね)かれるその時(とき)まで、ただ主(しゅ)を信頼(しんらい)して 歩(あゆ)み続(つづ)けるものと導(みちび)いてください。

主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。

アーメン」